

学位請求論文

法然における立教開宗

真宗学専攻

光川

眞翔

凡例

- 一、引用文は、原則として漢文は書き下し文で、仮名表記のものは平仮名表記に改めた。また、読みやすさを考慮して、適宜歴史的仮名づかいは現代仮名づかいに改めた。
- 一、本文中の漢字は、原則として通行の字体に改めるが、人名や著作等必要に応じて旧字体のまま用いたものもある。例えば、「選擇」や「廣」「竊」「廻」等。
- 一、文中の：中略：や丸括弧内の補語、強調の傍点・傍線等は筆者によるものである。
- 一、引文の出典は、以下の通り略記する。
 - ・『眞宗聖教全書』（大八木興文堂）↓『眞聖全』
 - ・石井教道編『昭和新修法然上人全集』（平樂寺書店）↓『昭法全』
 - ・井川定慶集『法然上人伝全集』（法然上人伝全集刊行会）↓『法伝全』
 - ・『大正新修大藏経』（大蔵出版）↓『大正蔵』
 - ・『国訳一切経』（大東出版）↓『国訳』
- 一、また、出典の上に適宜史料名を出した。例↓（『漢語燈録』「逆修説法」・『昭法全』〇頁）。その際、『黒谷上人漢語燈録』は『漢語燈録』、『黒谷上人和語燈録』は『和語燈録』、『黒谷上人拾遺語燈録』は『拾遺語燈録』と略記する。『語燈録』に収録されている項目名は「」中に記す。但し、本文中においてその項目を示す時に、便宜上『』を使用する場合がある。例えば、本文中↓『無量寿経釈』・引文中↓「無量寿経釈」。
- 一、註は全体通し番号で示し、本論の末尾に纏めて掲載した。
- 一、参考文献や論文著者の敬称は省略した。但し、論文中の指摘等を参照する場合は敬称を省略していない。